

# 泌尿器科医に聞く

富山労災病院 泌尿器科部長

いしうら よしゆき  
石浦 嘉之



H28年 新病院完成予想図

## 前立腺がんに対する様々な治療手段を揃え、

### 泌尿器科常勤医 3人体制で診療を行っています。



泌尿器科外来スタッフ

前列：石浦部長（左） 沢木医師（右）

後列：新倉部長（中央）

森 事務（左） 谷崎看護師（右）

前立腺がんは増加傾向にあり、5年後には国内男性のがん罹患率第2位となる見込みです。

早期前立腺がんの多くは無症状であり、検診が重要です。

魚津市の前立腺がん標準死亡率が県内市町村では2番目に高く、全国平均より約20%上回るという結果が全国調査（平成19年-23年）で得られました。

魚津市健康センターの働きかけの中で、魚津市の『前立腺がん検診』の対象者数は、昨年度より増えております。

50-69歳の男性の皆さま、定期的に『前立腺がん検診』を受けていきましょう。

『前立腺がん検診』では、<sup>ピーエスエイ</sup>PSAという腫瘍マーカーを血液検査で確認します。

PSAが異常値の場合、泌尿器科で超音波検査や直腸診を行い、組織診断が必要か最終判定する必要があります。

70歳以上の方は検診の対象外となりますが、排尿で気になることがある場合は、直接泌尿器科に受診してください。前立腺がんについても併せて検査を行います。初診時に問診票の記載、尿検査、超音波検査、直腸診、PSAを行っています。

労災病院泌尿器科では、根治的手術療法、根治的放射線療法、内分泌療法、抗がん化学療法といった前立腺がんに対する治療の柱を完備し、いずれの治療においても順調に行われております。新薬の出現により、薬物療法の幅も広がりました。前立腺がんは長い経過に対して多様な対応を要しますので、生活圏内にある病院での治療が肝要です。当院では現在100名以上の前立腺がん患者が通院されております。本年4月より泌尿器科診療歴20-40年の医師3名が常駐となりました。平日午前中の外来診療を2名の医師で対応するなど、今後も待ち時間の短縮化や診療内容の充実化に努めていきます。富山県東部地区の泌尿器科と比べましても高水準な医療を提供できる体制を整えておりますので、是非ご利用ください。

＜健康診断部では、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話）を受けています。＞

待ち時間が少なく、スムーズに受診を受けられます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

直通 0765・22-1354（平日9：00～16：00）

富山労災病院では、緊急に受診を希望される方の受付を行っています。

症状を自覚した時、夜間・休日の救急外来の時間まで待たずに来院してください。

事前に電話されるとスムーズに診療できます。

電話 0765-22-1280（病院代表）